

トラウマインフォームドケアにもとづいた

行動制限最小化のためのケアリスト(簡易版)

① 「患者さんの思いに寄り添う」

- スタッフのほうから患者のもとを訪れ、困りごとや要望がないか尋ねる ★
- 患者の要求や要望には、応えられる範囲でできるだけ早く応える
- つらい中で、ここまでよく頑張ったことを伝え、ねぎらう
- 困りごと、心配事に伴うつらい思いを聴く ★
- 具体的な困りごとを解決するための方法を一緒に考える ★
- 患者の要求に答えられなくても「心配していること」「気にしていること」を伝える
- エンゲイジメントラウンド Engagement Round、または同じ目的で行われるラウンド
- 話さない人に無理に話させようとしない ★

② 「安心できる環境を用意する」

- 病棟内に静かな環境のスペースを作る
- リラックスグッズの入った救急カートを用意
- 掲示物による呼びかけ
「この病棟は静かな環境をご用意します。気持ちが落ち着かない時はすぐに近くのスタッフにお声かけ下さい」など
- 夏は冷たいタオル、冬は暖かいタオルで手や顔を拭けるよう用意
- 夕方、落ち着かない患者にフットバスを提供
- 落ち着くようなゲーム、レクリエーションなどの実施
- 落ち着かない時は、診察時などに患者が安心できるグッズを用意
- 話しかけるときは、低く、落ち着いた声で
- ここは安全な場所であることを伝える ★
- 自分は看護師であることや、自分の役割を説明 ★
- 入室時やケアを行う際にはノックや呼びかけで知らせる ★
- 退室時などその場を離れる時には患者さんの顔を見て挨拶 ★
- 退室時、次の訪室のタイミングと必要な時の連絡手段を伝える ★
- この処遇を受けている理由と解除の見通しについてわかりやすい説明 ★
- この処遇が罰のために行われているのではないことの説明 ★
- プライバシーに配慮(トイレ・更衣など) ★
- 定期的に訪室し眠っていないければ声をかける(Engagement Roundと同様) ★
- 患者が心地よい・気持ちがいいと感じられるようなケア(マッサージ等)を行う ★
- その時必要とされる援助をできるだけお待たせせずに提供 ★
- 安全に考慮しつつ快適な療養環境を整備(アメニティなど) ★

③ 「スタッフ自身をケアする」

- スタッフが気持ちを落ち着かせることが出来るように、深呼吸をする
- スタッフルームにアロマや音楽、絵画をかける
- スタッフのトイレにアロマや花を用意
- スタッフはお互いにねぎらいの言葉をかけ、感謝の言葉を表現する
- 2名以上のチームでかかわる ★
- こまめに情報を共有する ★
- いつでもケアにかかわる相談ができる体制を整える ★
- ケアにかかわる困難やつらい感情を批判されず伝えられる雰囲気を整える ★

このようにケアを意識することが、トラウマインフォームドケアに基づくケアの提供につながります。

★は、特に行動制限中に意識するとよいとされています。

こちらは簡易版なので、「トラウマインフォームドケアにもとづいた行動制限最小化のためのケアリスト」も参考にして下さい。

